学校番号	1004

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	立体造形	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的に、手を使ってものを作る作業が多い授業です。さまざまな素材に触れることで、その特徴や加工方法について学習していきます。平面作品制作とは一味違う創作活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
主体的に立体造形の基礎を学び、様々な素材に触れ、その特性を理解するとともに様々な素材の加工の技術を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったりすることができる。
・３次元の物体の構造を考え、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生活の中に存在するものや、建築・彫刻・立体・工芸作品を身近に感じ、愛好する心と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素材の特徴や加工法の違いを理解し、その先にある表現に必要な基本的な知識と用具の扱い方を身につける。	立体表現は重量との折り合いでもあるので、作りたい形とそれを実現させるための諸条件について考え、意図に応じて表現方法を創意工夫している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	素材を加工する基本的な技術を身に付ける	造形の基礎を学ぶ (面と量)	a:さまざまな素材の特性と加工方法を理解し、多様な表現の幅を広げる道具を扱うことができる。 b: 限られた条件の中で表現できるように構想を練り、自分の意図に応じて表現方法を創意工夫している。 c:立体造形の良さや美しさに関心を持ち、主体的な態度で創作活動や鑑賞活動を行っている。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子
2学期	表現意図を持って表現する	多様な材料に触れる (均衡と動勢)	a:立体表現の実習を通して、空間的な造形感覚と構造に対する知識を身につけている。 b: 限られた条件の中で表現できるように構想を練り、自分の意図に応じて表現方法を創意工夫している。 c: 美術素材とされていない身近な材料に関心を持ち、主体的に創作活動に取り組んでいる。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子
		・高校展の鑑賞	c:高校生の作品のよさや美しさを感じ取り、その良さを味わっている。			鑑賞レポート
3学期	創意工夫を生かして表現する	計画的に創作する (空間と質)	a:天然素材の特性と加工方法を理解し、多様な表現の幅を広げる道具を扱うことができる。 b:自分の表現したい空間を、限られた条件の中で設計できるよう構想を練っている。 c: 素材としての天然素材に関心を持ち、主体的に創作活動に取り組んでいる。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度